

第5章

めざす姿に向かって

～立ち位置の確認とこれからの伸びしろ～

Contents

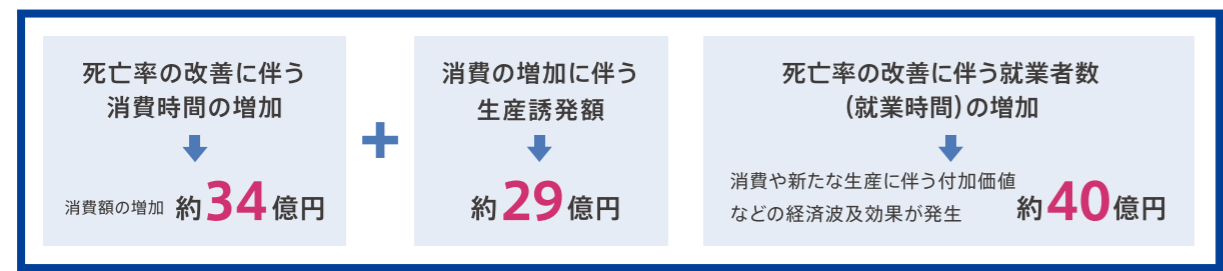
| | |
|--------------------------|-----|
| 1 注指標の設定～立ち位置の確認～ | 151 |
| 2 注指標と「県内総時間」～これからの伸びしろ～ | 151 |
| 3 「県内総時間」を伸ばす視点 | 156 |

第1章では、本県の平均寿命が他都道府県と比べて短いという現状を指摘していますが、ここでは男女とも平均寿命がトップの長野県との比較から、本県経済に与える影響を試算してみます。

本県の年齢階級別死亡率が長野県と同じになったと仮定した場合の死亡数の変化から、消費面を中心とした影響を見てみます。図2

図2 死亡率の改善が県経済に与える影響(試算)

| 男性 | | | | 女性 | | | | 男女合計の死亡数の差 | 平均寿命の延伸に伴う経済活動が発生 |
|----|-------------|--------------|---------|----|-------------|--------------|---------|------------|----------------------|
| 年代 | 青森県死亡数実数(①) | 長野県の死亡率適用(②) | (①)-(②) | 年代 | 青森県死亡数実数(①) | 長野県の死亡率適用(②) | (①)-(②) | | |
| | 18 | 15 | 3 | | 14 | 10 | 4 | 7 | 主として消費により経済活動を支える世代 |
| | 6 | 3 | 3 | | 3 | 1 | 2 | 5 | |
| | 5 | 2 | 3 | | 2 | 1 | 1 | 4 | |
| | 15 | 12 | 3 | | 7 | 3 | 4 | 7 | 主として就業により経済活動を支える世代 |
| | 21 | 17 | 4 | | 9 | 7 | 2 | 6 | |
| | 29 | 27 | 2 | | 10 | 11 | -1 | 1 | |
| | 44 | 32 | 12 | | 28 | 13 | 15 | 27 | |
| | 49 | 45 | 4 | | 23 | 22 | 1 | 5 | |
| | 97 | 61 | 36 | | 38 | 33 | 5 | 41 | |
| | 176 | 85 | 91 | | 73 | 46 | 27 | 118 | |
| | 223 | 135 | 88 | | 121 | 91 | 30 | 118 | 消費や就業などにより経済活動を支える世代 |
| | 430 | 261 | 169 | | 193 | 139 | 54 | 223 | |
| | 638 | 423 | 215 | | 274 | 195 | 79 | 294 | |
| | 725 | 460 | 265 | | 327 | 232 | 95 | 360 | |
| | 1,006 | 704 | 302 | | 511 | 408 | 103 | 405 | |
| | 1,555 | 1,128 | 427 | | 942 | 762 | 180 | 607 | |
| | 1,646 | 1,291 | 355 | | 1,256 | 1,120 | 136 | 491 | |
| | 1,869 | 1,654 | 215 | | 3,647 | 3,487 | 160 | 375 | |
| 計 | 8,552 | 6,355 | 2,197 | 計 | 7,478 | 6,581 | 897 | 3,094 | |



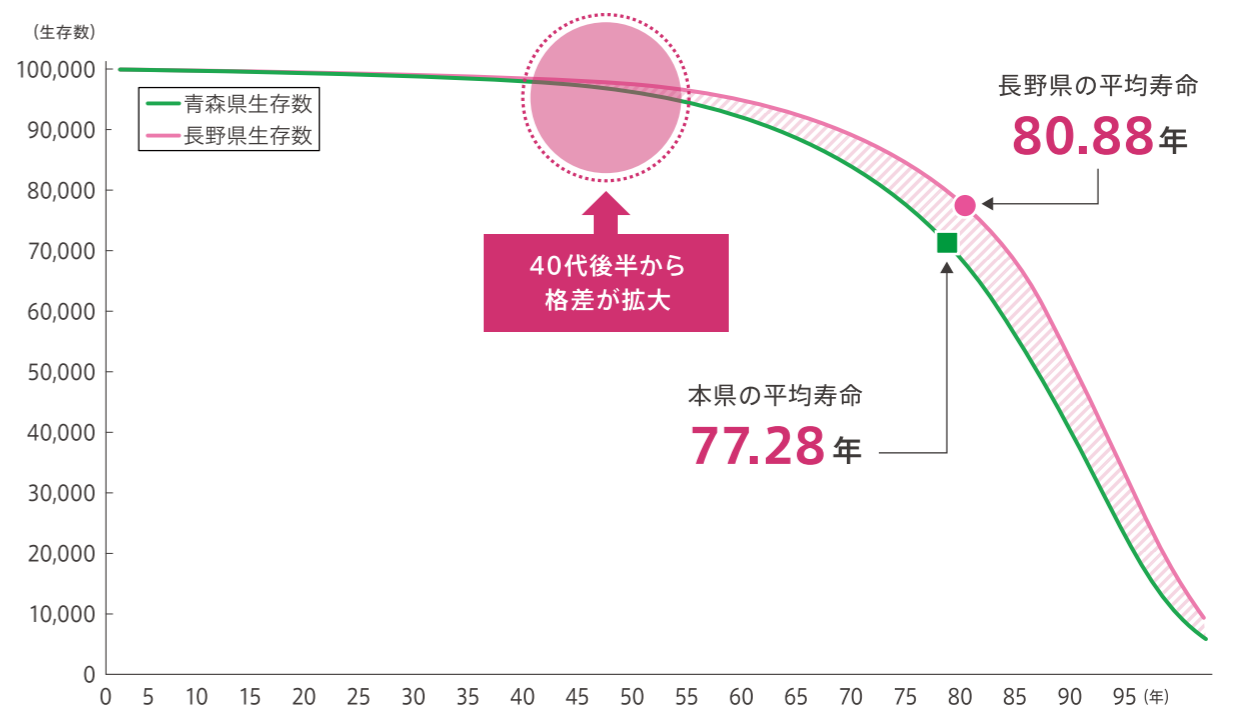
就業者数(時間)、消費時間の増加は、それぞれ新たな生産を誘発し、所得として分配され、1人当たり県民所得の増加に寄与

● 死亡数3,094人が生存した場合の1年間の消費額
 3,094人×1,092,000円(※)≒33億7,860万円
 ※1か月の1人当たり消費支出を91,000円と推計(平成24年家計調査・青森市)
 ● 消費の増加に伴う生産誘発額、就業者の増加による経済波及効果は、平成17年青森県産業連関表を使用

このように、時間

図3

図3 生存曲線(男性)



資料:厚生労働省「平成22年生命表」

2 伸びしろをより大きくする「県内総時間」

支出(消費)、生産、分配という経済活動の循環を拡大させる視点から、県民が県内で使う時間である「県民総時間」に加えて、県外からの来訪者などが県内で過ごす時間にも着目することができます。観光やビジネス、移住、二地域居住などによる交流人口の増加は、県外から様々な目的で訪れた来訪者が県内に滞


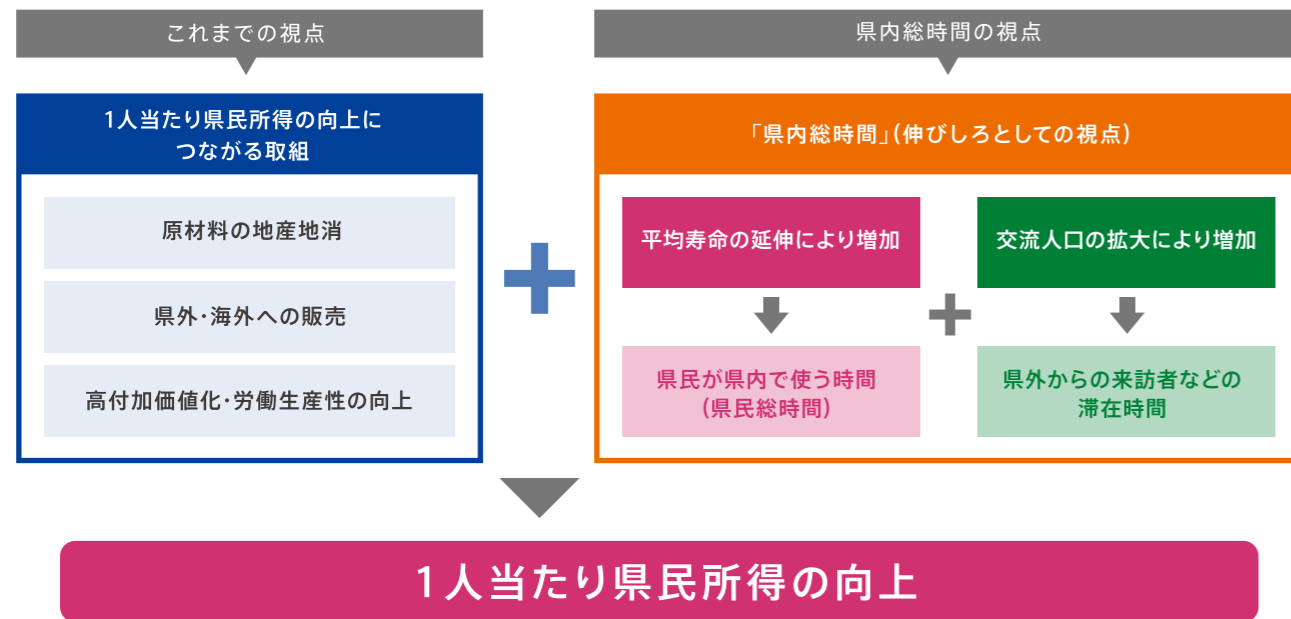
在した時間として、「県民総時間」同様、青森県という地域で使われる時間と考えることができます。この「県外からの来訪者などの滞在時間」と県民が県内で使う時間である「県民総時間」を合わせた「県内総時間」が増えることで、2つの注目指標の伸びしろをより効果的に獲得することができると考えられます。 

図4 県民所得向上のための新たな視点





これまでの県民所得向上に向けた各分野の取組を進めていくことに加えて、平均寿命が他都道府県よりも短いことにより失われている時間を平均寿命の延伸により獲得していくという考え方が「県民総時間」であり、その伸びしろをより大きなものとするために、交流人口拡大の視点を加えたものが「県内総時間」となります。

県外からの来訪者などの滞在時間について更に広範囲に捉えると、それぞれの居住地に帰った後も、本県での体験を様々なツールを用いて発信する時間や、本県の産品などの購買に充てる時間など、国内外で、いわゆる「本県とつながる時間」の効果も期待されます。

3 「県内総時間」を伸ばす視点

「県内総時間」は、平均寿命の延伸や交流人口の拡大により、1人当たり県民所得の向上をめざす県を挙げた総合的な取組のシンボルとして設定するものです。

「県内総時間」を伸ばしていくためには、次の項目が向上・改善するような取組を進めていくことが必要です。  

「県内総時間」を伸ばすことにつながる項目の代表例

表1 県民総時間

| 項目 | 着目点 |
|------------------|---------------|
| がん、心疾患などの年齢調整死亡率 | 平均寿命の延伸に影響 |
| 不慮の事故による死亡率 | |
| 自殺による死亡率 | |
| 成人の肥満者の割合 | 生活習慣病発症に影響 |
| 喫煙率 | |
| 食塩摂取量 | |
| 一日当たり歩数 | |
| 野菜摂取量 | |
| 飲酒習慣者の割合 | 生活習慣病の早期発見・予防 |
| 特定健康診査等実施率 | |
| 肥満傾向児出現率 | 児童生徒の健康状態 |
| 出生数 | 出生の動向 |

表2 県外からの来訪者などの滞在時間

| 項目 | 着目点 |
|-------------|--------------------|
| 観光入込客数 | 県外からの来訪者数(日帰り、宿泊別) |
| 県内宿泊施設の宿泊者数 | 宿泊者数 |
| 平均宿泊日数 | 宿泊者の動向 |
| 修学旅行生数 | 教育旅行による来訪者数 |
| 県内空港利用者数 | 国内外からの来訪者数 |
| 外国人宿泊者数 | 海外から訪れる来訪者数 |
| 外国クルーズ客船寄港数 | 海外からの来訪者の動向 |